



市長からの手紙

83 母子生活支援施設

昨年の冬、市内に新しい母子生活支援施設「カーサ・ライラック」が完成し、ここでの事業が開始されました。

市内には、かつて「すみれ館」という、市が所有・運営する母子生活支援施設がありました。しかし、建物の老朽化と耐震性に問題があったため、平成27年度に施設を閉鎖し、新しい母子生活支援施設を整備することが課題となっていました。

その後、市内の社会福祉法人が母子生活支援施設の施設整備・運営を担ってくれることになり、市が補助金を出し、計画から竣工まで約3年かけて、このたびの完成となりました。この社会福祉法人は、大正元年に創設された、県内で一番歴史のある児童養護施設を運営しています。

新しい施設は、入所者に対する生活相談・子育て相談事業等の支援を行い、そのほかにも①

子育て短期支援事業、②母子緊急一時保護事業などを行います。

①は、保護者が病気や通院の時などに、3歳から小学3年生までの子どもを午後5時から9時30分まで預かるトワイライト事業と、午前9時から翌日の午後5時まで預かるショートステイ事業があります。この事業については、所得に応じた費用負担が必要です。

②は、配偶者、恋人などからの暴力(DV)により居所を失うなどの緊急性を認められた母子が、この施設で一定期間生活することができます。

「カーサ・ライラック」は竣工式の時に内覧しましたが、居室は、全室南向きで、大きなガラス戸の開口部があり、富士山も望めるし、陽光も十分に入る、明るい造りの部屋です。かつての「すみれ館」は、老朽化が進み、居室も窓が小さく明るい感じがしませんでした。が、「カーサ・ライラック」の居室は本当に明るく、壁も優しく人の心を和ませてくれるような彩色でとてもいい感じです。

このような施設は利用者が少ない方が良いのですが、深刻な課題に直面している親子のために、快適で心が安まるような施設が出来上がりました。利用するには、こども家庭課に相談してください。

川越市長 川合善明

くらしに身近な公共交通 ④

交通政策課 224・5519

市内循環バス「川越シャトル」は現在、12月29日～1月3日を除く毎日、13路線を運行しています。

川越シャトルを乗り継ぐ場合や長距離の往復では、1日券の利用が便利です。1日券は乗車当日限り有効で、何回でも乗車できます。バス車内で販売していますので、購入の際は、乗務員に申し出てください。なお、購入は現金のみの取り扱いとなります。

■1日券のご案内

中学生以上は、500円です。なお左記の割引を設けています。

●こども(1歳以上～小学生)、市外在住の障害のある方は、250円

●市が発行する特別乗車証をお持ちの70～89歳の方は、300円

割引の区分について、詳しくはお尋ねください。

■1日券を使ってお得に乗車してみませんか

例①南大塚駅北口から川越駅西口で乗り換えて総合保健センターへ往復する場合

南大塚駅北口～川越駅西口＝通常料金片道230円

川越駅西口～総合保健センター＝通常料金片道190円

片道合計420円。往復すると420円×2＝840円

1日券を買ったと500円ですので、340円お得に乗車できます。

例②上福岡駅西口から総合福祉センターへ往復する場合
上福岡駅西口～総合福祉センター＝通常料金片道360円

往復すると360円×2＝720円

1日券を買ったと220円お得になります。

このように乗り換えなしでも、長距離の乗車には1日券を使った方がお得な場合があります。

